

第53回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年2月8日（火）17：00～18：30

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義 一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長（WEB 参加）

岡部 信彦 川崎市健康安全研究所 所長（WEB 参加）

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

川名 明彦 防衛医科大学校 教授（WEB 参加）

小谷野 和博 埼玉県中小企業団体中央会 会長（WEB 参加）

坂木 晴世 国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB 参加）

讚井 将満 自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB 参加）

竹田 晋浩 かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長（WEB 参加）

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長

光武 耕太郎 埼玉医科大学国際医療センター 教授（WEB 参加）

三村 喜宏 埼玉県商工会連合会 会長（WEB 参加）

4. 県側参加者

大野 元裕 知事

高田 直芳 教育長（WEB 参加）

小野寺 亘 総務部長（WEB 参加）

安藤 宏 危機管理防災部長（WEB 参加）

関本 建二 保健医療部長

星 永進 保健医療部参事

本多 麻夫 保健医療部 参事

板東 博之 産業労働部長（WEB 参加）

和泉 芳広 少子化対策局長（WEB 参加）

岸本 剛 衛生研究所 副所長

5. 主な意見

ア 埼玉県における「まん延防止等重点措置」等に基づく要請について

- 医療体制が楽になる見込みがないのであれば、まん延防止等重点措置の延長はやむを得ない。一般医療に妨げがあってはならない。（岡部委員）
- 医療スタッフが感染や濃厚接触者となることにより、他のスタッフの負担増や患者の受け入れに影響が生じる事例がある。（竹田委員、光武委員）
- 感染者が増えると高齢者や基礎疾患のある方が重症化して亡くなるため、もう一段、感染者数を減らす必要がある。（川名委員）
- 埼玉県における「まん延防止等重点措置」等に基づく要請について異議なし。（委員一同）

【県の対応】

- 県内の感染状況及び委員の意見を踏まえ、まん延防止等重点措置等について決定した。（2月10日開催第77回新型コロナウイルス対策本部会議において決定。）

イ 国への要望について

- 高齢者やエッセンシャルワーカーへのワクチン接種を急ぐことを盛り込むべき。（金井委員）
- 子どもへのワクチン接種については、小児科医会等の意見を尊重していただきたい。（岡部委員）
- 高齢者施設について、看護師が陽性等となって出勤できない場合に応援の看護師を派遣できる仕組みが必要である。（坂木委員）

【県の対応】

- 国への要望の内容を精査する。

ウ 措置期間の延長に伴う県立学校の対応について

- 部活動については、原則中止となっているが、活発に部活動を行う時期ではないため、週2日程度であればフラストレーションの解消の機会を作るためにも実施してよいのではないかと。（岡部委員）
- 感染者が発生している状況は、部活動自体より更衣室や行き帰りでの接触があったと推測されるケースのほうが多い。生徒に基本的な感染対策やリスクが高い場面を伝えるなど、学校生活を維持する方策を指導すれば良い。（坂木委員）

【県の対応】

- 現在の対応（週2日、90分以内、平日のみ）を継続する。